2026（令和８）年度 第４回 高井戸小学校運営協議会 議事録

日時・場所：　2026（令和８）年９月１１日（金）15:30～１7:00・高井戸小学校校長室
参加者：　（事務局）廣野、山田
（委員）秋山、蘆塚、笠原、鬼澤、下河、内藤、蕨南、和田
敬称略・所属・五十音順
欠席：　奥田、中島、蕨南
議事録担当：　山田
配布資料：　１．次第
以下、［］は発言者を表す。

１．会長挨拶［鬼澤］

副市長として携わっている佐渡の学力調査の結果から、読解力の低下が懸念されている。これは全国的に共通する課題であり、それを伸ばしていくための読書活動の充実や、学校や地域の図書館の整備を進めていく必要がある。また、高校を卒業すると青年が島外に出てしまうことが多い佐渡の状況から、地域を愛する子どもたちを育成するために、島の歴史や地域の祭りを大切にする取組が行われている。昨年、高井戸小学校では、１５０周年記念行事が行われたが、子どもたちが主体的に関わることで、地域や学校に対する思いが高まったと実感した。地域や課題は違っていても、地域への愛着など子どもたちに身につけさせたいものには、共通点も多いと感じている。

２．学校長より

＜学校だよりについて＞

９月号より学校だより内容の見直しを図った。校長や副校長が記す巻頭言を無くし、随時更新しているホームページを参照してもらうことにした。後日、その件について地域の方からお意見をいただいた。急な変更になったことについてお詫びしたい。今後巻頭言には、１か月分のホームページダイジェストという形でお示しすることとしたい。また、杉並区全体としてもデジタル化が進んでいることから、紙媒体を望まれる方へのご希望にも添える形を残しつつ、徐々にデジタル配信を広めていけるようにしていく。［笠原］

紙を見て安心する人もいる。地域では、コミュニティのつながりを維持する役割として、回覧板がある。そのことも踏まえて、高齢やデジタルに不慣れな方への配慮もしていくのはどうか。［蘆塚・内藤］

今後はデジタル化を進めていくが、地域の希望にも配慮しながら移行できるようにする。［笠原］

＜令和９年度の学校経営方針（案）について＞

笠原校長より、令和９年度の学校経営方針についての素案についての説明。

・児童が学び方を選び、他者を参照しながら、主体的に学びを深めていく「複線型授業」の推進。
・授業や効率的な校務のための生成ＡＩの利活用。
・心理的安全性を高め、児童・保護者・地域・教員の幸せを作る学校を目指す。

子どもの自己肯定感を育てるには、多くの大人が関わり児童の活動過程を認め褒めていくことが大切。また、PTA や地域が保護者向けの学びの機会をつくることも大切なことである思う。昨年の 150 周年行事がよい例ではないか。子どもたちが主体的に取り組むことで、関わる大人たちから大いに褒められて、成長している姿が見られた。［和田・下河］

３．協議・伝達事項

学校支援本部より

今後の活動内容について、６年生のキャリア教育講師、５年生社会科見学の引率補助について人選している。また、３年生の「杉並区のために働く人々」では、地域の人材に講師を依頼中。１０月３日（土）は、本校児童と家族向けに「お馬ちゃんがるよ！」のイベントを開催する。同日に高井戸センター祭りも開催されるため、両イベントに多くの方が参加することを望んでいる。１１月２１日（土）には、震災救援所主催の訓練を行う。震災救援所連絡協議会会長より、ＣＳの皆様もぜひ出席してくださいとのこと。[和田]

次回学校運営協議会開催日：１１月１３日（金）１５：３０～１７：００
運動会：１０月３１日（土）　雨天時：１１月１日（日）
音楽会：１１月２７日（金）、２８日（土）※２７日（金）は児童鑑賞日。

以上